

学校司書養成講座 講義要項

科目：学校図書館制度・経営論

コマ数：15 コマ(22.5 時間)

講師：小林 達也

【講義・演習概要】

この科目では、学校図書館について基本的なことを学びます。

1 日目は、学校図書館とはどのような設備であるかを、法律の面、行政や制度の面からお話します。

2 日目は、学校図書館はどのような人が関わるのか、どのような資料をそろえるのかなどの、運営に関わるお話をします。

3日目は、学校図書館の教育的機能のお話をします。読書センター機能、情報センター機能、学習センター機能が学習に生かされて児童生徒が身に付ける資質・能力について実践例を紹介しします。

4日目は、特別な教育的ニーズを必要とする児童生徒への支援、学校図書館の課題や今後の学校図書館像についてお話をします。

受講される皆さんが、調べる活動ができるよう、毎回、講義の内容に関連した課題を出します。

【学習のねらい・到達目標】

- ・学校図書館の重要性について法律や教育行政と関連させて説明することができる。
- ・学校図書館の機能や携わる教職員について、資料に基づいて説明することができる。
- ・学習活動を支援する学校図書館について、司書教諭と学校司書の協働の観点から、具体例を挙げて説明することができる。

【授業計画】

第1回 学校図書館の理念と教育的意義	第9回 学校図書館の機能
第2回 学校図書館の歩み	第10回 読書センター機能
第3回 学校図書館の現状	第11回 情報センター機能
第4回 教育行政と学校図書館	第12回 学習センター機能
第5回 学校図書館に関わる職員の職務と役割	第13回 特別なニーズをもつ児童生徒への支援
第6回 学校司書の職務、役割	第14回 ICTとデジタル資料
第7回 学校図書館の運営	第15回 学校図書館の課題と展望(まとめ)
第8回 学校図書館メディアの選択と管理、提供	

【成績評価の方法】

毎回、課題を出します。その提出状況と内容によって評価します。

【テキスト】

不使用。必要な資料は適宜配布します。

【参考文献】

- ・全国学校図書館協議会監修、『学校図書館必携』改訂版、2012、悠光堂
- ・堀川照代編著、『「学校図書館ガイドライン」活用ハンドブック解説編』2018年、悠光堂
- ・堀川照代編著、『「学校図書館ガイドライン」活用ハンドブック実践編』2019年、悠光堂

【その他】

学校司書は資料の専門家です。個々の児童生徒にふさわしい資料を薦められるよう、普段からなるべく多くの子どもの本を読むように心がけてください。

学校司書養成講座 講義要項

科目:学習指導と学校図書館

コマ数:15 コマ(22.5 時間)

講師:柳田 典子

【講義概要】

学校図書館には図書以外の地域資料やパンフレットなど様々な図書資料が必要です。

授業に使える図書館にするにはどんな図書館整備・運営が必要か、またどんな取組ができるかなど具体的に学びます。

そして各教科での学校図書館を活用した授業について学びます。

【学習のねらいと到達目標】

- ・学校図書館の環境整備・運営について考えることができる。
- ・学校図書館を活用した、各教科の授業について学ぶことができる。

【講義計画】

- 【第1回】現代の学校教育と学校図書館 校内体制での取組・図書館運営
- 【第2回】教育課程の編成と学校図書館 学校図書館ガイドラインに沿った学校図書館作り
- 【第3回】学校図書館を授業に活用するための図書館整備と図書資料について
- 【第4回】地域資料・独自資料の作り方
- 【第5回】教科等の学習指導の実際 図書館オリエンテーション
- 【第6回】教科等の学習指導の実際 小学校低学年での指導(国語科・生活科)
- 【第7回】教科等の学習指導の実際 小学校中学年での指導(国語科)新聞・ポスターを読もう・作ろう
- 【第8回】教科等の学習指導の実際 小学校高学年での指導(国語科)パンフレットを読もう・作ろう
- 【第9回】教科等の学習指導の実際 総合的な学習の時間・探究学習と学校図書館
- 【第10回】教科等の学習指導の実際 社会科での指導
- 【第11回】教科等の学習指導の実際 中学校1年での指導(国語科)
- 【第12回】教科等の学習指導の実際 中学校2・3年での指導(国語科)
- 【第13回】教科等の学習指導の実際 職業ガイドを作ろう(国語科・社会科公民)
- 【第14回】特別な教育的ニーズと学校図書館
- 【第15回】学校司書の役割と学習指導と学校図書館

【テキスト】

毎回、プリントを配付する

【参考文献】

探究学校図書館学

第3巻『学習指導と学校図書館』

「探究 学校図書館学」編集委員会 編著

全国学校図書館協議会,2020,978-4-7933-2276-1

【その他】

児童生徒が「来たい」と思える学校図書館にして、授業での活用ができる学校図書館をめざしてください。

学校司書養成講座 講義要項

科目:学校教育概論

コマ数:15 コマ(22.5 時間)

講師:神代 一徳

【講義概要】

本授業は、学校教育や児童生徒の心身の発達などについて理解した上で、実践的な指導方法を学修する。

- ①学校教育の意義と目標等を知り、教育行政との関係について理解する。
- ②学習指導要領の変遷の理解を通して、教育の現代化の課題について学ぶ。
- ③児童生徒の心身の発達と、確かな学力等獲得のための学習方法を理解する。
- ④支援を要する児童生徒の理解を深める。
- ⑤学校教育の現代的課題について理解し、その解決に向けての具体的な方法を基礎から実践までを学ぶ。
- ⑥①から⑤を通して言語活動を活用して「主体的で対話的な深い学び」について理解を深める。
- ⑦知識を知識として終わらせるのではなく、授業を通して実践的な力を身につけられるよう繰り返し挑戦する。

※授業は可能な限りアクティブな方法で行う。同時に毎回の「ふりかえり」を参考に授業をすすめる。

【学習のねらいと到達目標】

<ねらい>

教育現場の実情を踏まえ、現代日本の学校教育が抱える課題を考察し理解する。

<到達目標>

- ・近代日本学校教育の変遷とその背景を理解する。
- ・戦後の学習指導要領の変遷、生徒指導提要の改訂の検討から、変化する学校教育が抱える課題を理解する。
- ・実際の教育現場が抱える課題を考察・理解する。
- ・「チーム学校」で学校司書が果たす役割を考察・理解する。

【講義計画】

- ・学校教育の意義と目標
- ・教育課程の意義と学習指導要領
- ・児童生徒の心身の発達と生徒指導提要
- ・教育行政と学校教育
- ・特別に支援を要する児童生徒に対する理解
- ・学校教育に関する現代的諸課題

【テキスト】

- ・教科書は使用しない。

【参考文献】

- ・学習指導要領 高等学校(平成 30 年告示)平成 30 年 3 月文部科学省
- ・生徒指導提要 平成 22 年 3 月 文部科学省

学校司書養成講座 講義要項

科目:児童生徒の発達と読書

コマ数:15コマ(22.5時間)

講師:佐久間 朋子

【講義・演習概要】

学校図書館が「読書センター」としての役割を果たし、学校司書が司書教諭、担任教諭と協働して読書指導を行う際の理念と方法について理解を図る。

子どもの本の専門職として、児童生徒に適時に、適書を、適切な方法で紹介できるよう、発達段階に応じた多様な読書材を知り、児童生徒と本をつなぐ具体的な方法について技能の習得を図る。

【学習目標】

読書の目的を理解し、具体的な読書指導の方法を知る。発達段階に応じた図書の種類と活用方法を理解する。

【講義・演習計画】

第1回 子どもの読書状況	第9回 読書活動の推進 日本 *ビブリオバトル発表
第2回 読書能力・読書興味の発達段階	第10回 読書活動の推進 諸外国 *ビブリオバトル発表
第3回 読書資料の特徴と選択	第11回 読書資料(1) 絵本・童話 *ビブリオバトル発表
第4回 読書プログラム 読み聞かせ	第12回 読書資料(2) 児童文学
第5回 読書プログラム 紙芝居	ストーリーテリング・ブックトーク
第6回 読書プログラム ペープサート	第13回 学校、家庭における読書活動と読書指導
第7回 読書プログラム パネルシアター・ブラックライトシアター	第14回 読書をめぐる諸問題
第8回 読書プログラム アニメーション	第15回 まとめ

【成績評価の方法】

読書預金通帳: 30% 読書プログラム発表: 30% ビブリオバトル発表: 30% 受講態度: 10%

コメント: 授業計画に基づき講義形式と演習発表、受講生全員がビブリオバトル発表をする。なお、受講生数、理解度によって授業計画は変更することもある。

【テキスト】

指定しない

【参考文献】

「司書教諭・学校司書のための 学校図書館必携 理論と実践 新訂版」全国学校図書館 監修 悠光堂

「学校教育と図書館」志保田務・北克一・山本順一 編著 第一法規

【その他備考】

事前および事後学習の指示

(事前学習 30 時間 ・事後学習 30 時間)

読み聞かせ・ビブリオバトル発表の準備をしておくこと。

講義後、要点をまとめておくこと。

講義中に紹介する参考文献も、できれば読んでおくこと。